

ふりかえり交流会

2026年2月8日(日)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No.11



令和8年2月8日に「ふりかえり交流会」を開催しました。この交流会は、子ども県議会後の取り組み状況や提案内容について、自由に意見交換を行うことを目的としています。午前の部では、子ども議員だけで久しぶりの再会を喜び合い、子ども県議会後に取り組んできたことや、今後挑戦したいことについて語り合いました。また、本年度は「ふりかえり交流会」の運営も司会や受付なども子ども議員が行いました。

午後の部では、県の職員も加わり、子ども県議会での提案内容や、それを踏まえてさらに深めた考えについて意見交換を行いました。子ども議員にとっては、子ども県議会で伝えきれなかった思いや考えを県の職員に直接伝える貴重な機会となりました。一方、県の職員にとっても、子どもたちの率直な意見を聞くことで、提案内容への理解を深める有意義な場となりました。

はじまる前に!



午前中は、自分たちの提案文などを振り返り、お昼からどんな話をするかみんなで話し合いました。



司会や挨拶・受付などの役割を誰がするか、子どもたち自身で決めてもらいました。

県庁職員さんをお招きして、意見交換スタート!



午後の意見交換会のはじまりの会では、進行やはじめの言葉も午前中に子どもたちが決めた子ども議員が行いました。10名の県庁職員さんがきてくださいました。みんなちょっと緊張しています。



子ども県議会当日に答弁いただいた岸本副知事、村井教育長をはじめ、出席者から一人ずつ自己紹介。普段している仕事の内容を丁寧に教えていただきました。



1回目は「教育/図書館」「防災/公共交通」「スポーツ/特産品・魅力」「環境」「挑戦/居場所/働き方」の5つのグループに分かれて子ども県議会で質問したことなどについて、2回目は「平和」「観光・魅力・伝統・文化」「地域・まちづくり」「教育・子ども・学校・居場所」「環境」の5つのグループに分かれ、「子ども宣言」について意見交換を行いました。



子どもたちも県庁職員もとても真剣に、時折和やかに「どういう思いで作ったのか」「なんでそんなことを考えたのか」を話しました。また、子どもたちから見える課題や、県庁職員から現状や課題を共有し、みんなで話し合いました。



「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」大会のメダルに触れる機会をいただき、子どもたちも選手気分でした！



最後に、岸本副知事から、お言葉をいただきました！

意見の対立は自然なことです。意見の対立を恐れたり、嫌だからと諦めたりせず、違いを認めようすれば異なる意見の人たちと学校生活や社会で仲良くできるかを考えましょう。皆さんのご提案を参考に、より住みやすい滋賀県を目指します。ありがとうございました。

子どもたちの感想より

自分も聞きたいことを聞けたり、県庁職員さんから直接聞いたりできてよかったです。

滋賀県のことを考えて話し合うことって、とっても楽しいんだなって気づきました！

本番で聞けなかったことも聞けて、疑問がスッキリした。

実際に県庁の人と話して、提案したことが実現すればいいなと思いました。

議会本番のときに話したよりも緊張感がなく、話せてよかった。

たくさんの県庁の方から、答弁よりもさらに詳しく話を聞いてうれしかった！

最後は…

子どもたち・県庁職員さんと一緒に集合写真を撮りました。

今年の活動はこれで最後！

ふりかえり交流会で、今年度の子ども議員の活動は終了しました。これまでの活動を通じて考えたことや学んだことを大切に、よりよい滋賀県にするために、共に考え行動してくれることを期待しています。

